

くにたち

昨年、小惑星探査機「はやぶさ」の帰還で日本の宇宙技術に注目が集まりました。小惑星イトカワに着陸し、約60億キロの旅を経て地球に戻ってきた世界初の快挙です。そして、イトカワ由来の微粒子を持ち帰っていたのです。改めて宇宙への関心が高まると共に、中学生の頃、初めて望遠鏡で土星の輪やアンドロメダ星雲の渦巻きを見たときに、本当に目の前に現物が有るような感動を覚えたことを思い出しました。「はやぶさ」の目的は地球を離れて無事帰還するという宇宙飛行の実証とともに、“他の天体がどうなっているのかを知りたい”との願いも込められているとのことです。実物を見ることができたらという思いは誰でも同じようです。

さて、今月の特集は「可視化技術」です。見えないものを見えるようにすることによって技術の検証がたやすくなること、見えることによる管理手法の信頼性の向上など様々なメリットが生まれ、技術開発には非常に有効な手段であることを紹介致しました。

皆様の周りでの「可視化技術」はどのようになっているのでしょうか。あまり見えすぎても困る場合もありますが。(S. E.)

■監修責任者

熊谷則道

■編集責任者

西江勇二

■企画・校閲

饗庭雅之, 坂本義雄, 山本克也, 早勢 剛, 遠藤三郎, 富岡隆弘, 大江晋太郎, 杉本一朗, 重枝秀紀, 吉田 真, 佐溝昌彦, 福田光芳, 野末道子, 上原元樹, 植木健司, 菊池勝浩, 藤浪浩平, 高橋紀之, 中山康二

■編集・出版

財団法人 研友社

次号 ■ 平成23年6月号 ■ 予告

特集：制御技術

インターネットのホームページで、様々な最先端の鉄道技術の紹介や関連する情報を提供しています。

■鉄道総研アドレス

http://www.rtri.or.jp/index_J.html

■研友社アドレス

<http://www.kenf.or.jp>

■記事に関するお問い合わせ先

総務部 広報 電話042-573-7219